

# 貧酸素水塊速報 (2024年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
神奈川県水産技術センター

千葉県農林水産技術会議  
内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター  
第三管区海上保安本部

東京都環境局  
(国)国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)

(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 令和6年10月11日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部に分布していました。9月末に発生した青潮で貧酸素水塊の規模は縮小し、8日から続く北寄りの風により、湾奥で貧酸素水が湧昇していました(図1)。縦断ラインの鉛直分布をみると、その規模は6%と縮小し、直近10年並みでした(図2,3)。表層水温21~22℃、底層水温18~22℃でした。

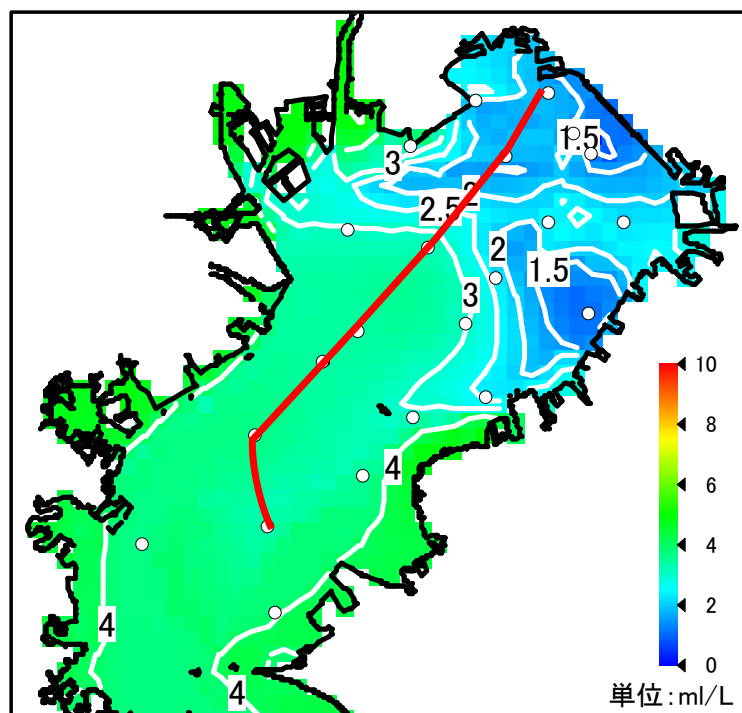


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

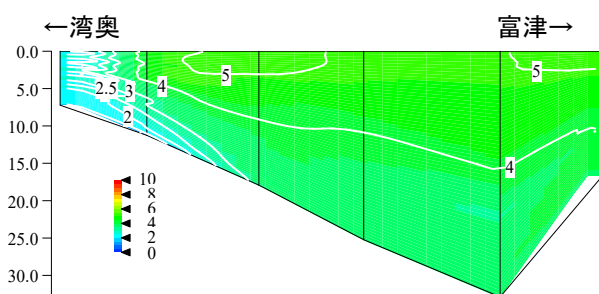


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

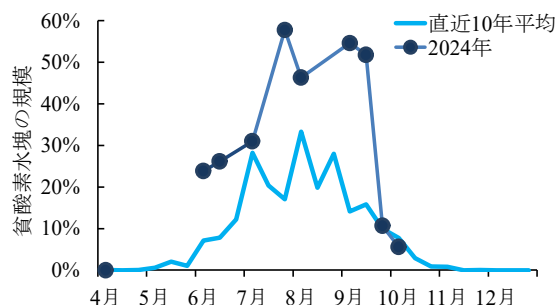


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)

| 酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安 |         |       |
|--------------------|---------|-------|
| 酸素飽和度              | 溶存酸素量   | 備考    |
| 50%                | 2.5mL/L | 貧酸素水塊 |
| 30~40%             | 2.0mL/L | 魚類に影響 |
|                    | 1.5mL/L | 貝類危険  |
|                    | 1.0mL/L |       |